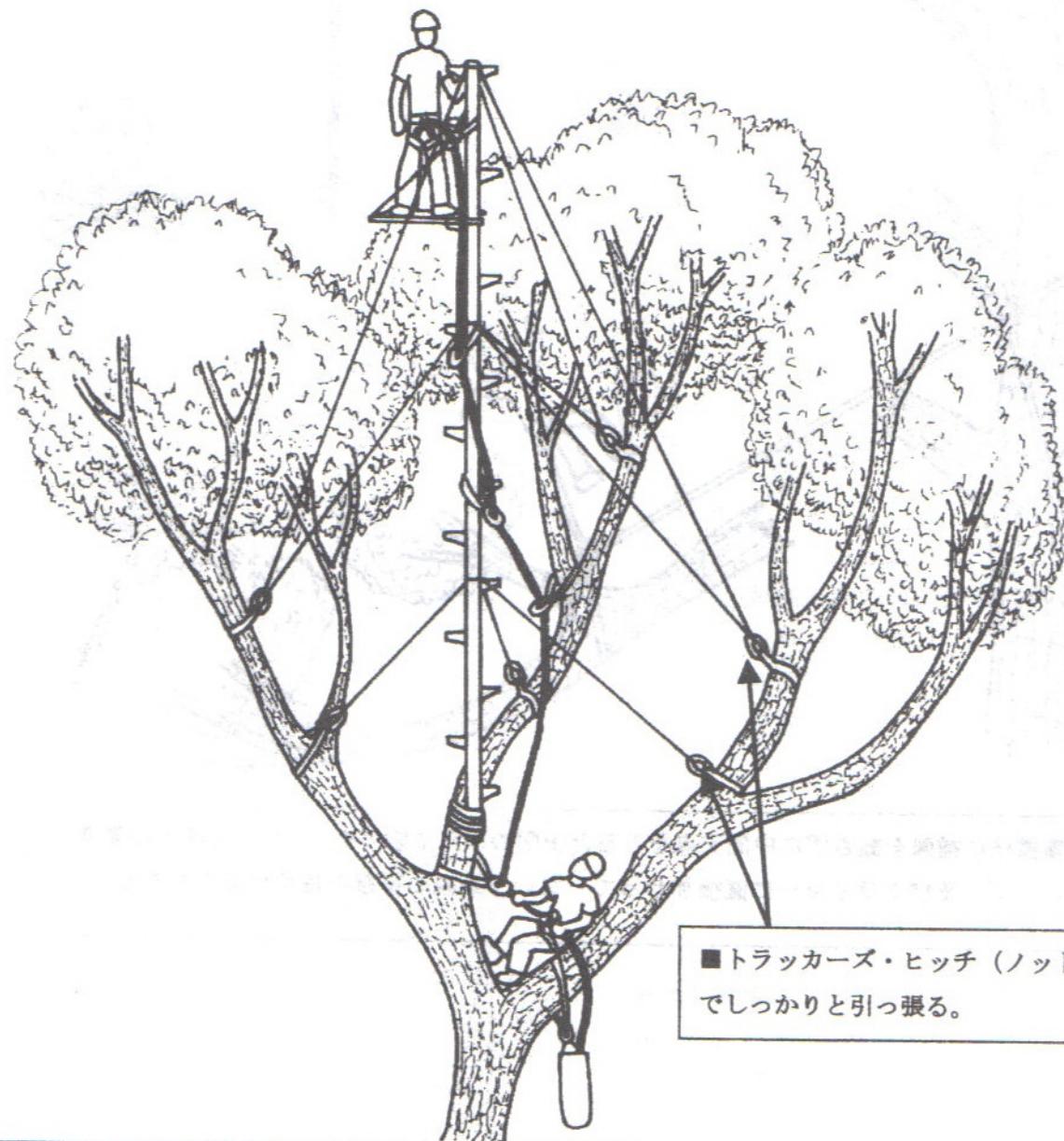


● 梯子を用いてのアプローチ

樹冠部の頂点付近の枝は非常に細く、人間の荷重に耐えることができない。リード・クライミングを用いてもアプローチできない頂点へは梯子を用いる。ロープで梯子を数方向から均等に引っ張り、しっかりと固定すれば頂点までアプローチすることができる。こうして設置した梯子を登高する際もリード・クライミングと同じ要領で中間支点を作成し、確保と受けながら登高する。



■ 梯子は立地条件を十分に考えて、最低でも1ヶ所につき3方向から均等にロープを張る。絶対に斜めにならないように慎重に設置し、登高前に垂直に立っていることを確かめる。

◆チロリアン・ブリッジからの下降

これまでの登高・下降、チロリアン・ブリッジの移動の技術を組み合わせることで、さらに幅広く樹上を移動することができる。前項で紹介した、チロリアンから新たなロープを追加し、チロリアン上の任意の点から下方向への移動が可能になる。

- ① 到達したい地点の上までチロリアン上を移動する。その際、アセンダーの進行方向が下り傾斜であれば、方向変換を行い（前章参照）体が流れないようにする。
- ② アセンダーから体重を抜き、カウズ・テイルに乗り移る。（前章参照）
- ③ アセンダーに下降用ロープを接続する。この時、必ずロープの末端にノットを作る。（落下防止の為）
- ④ 下降用ロープにディセンダーをセットし、ロックをかける。
- ⑤ フット・ループやアブミを用いて、カウズ・テイルを解除する。
- ⑥ ディセンダーで下降する。

